



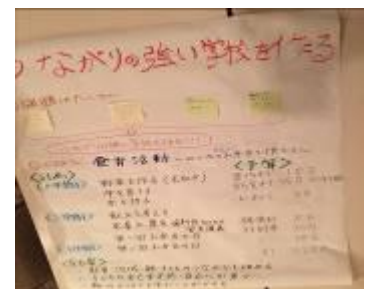
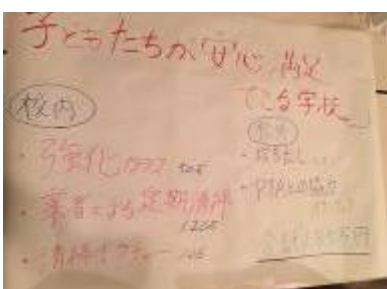
第2回新規採用・新規採用臨時的任用学校事務職員研修講座報告

1月20日(金)アウィーナ大阪にて第2回新規採用学校事務職員研修講座を開催しました。今回の研修講座は、「自分の学校のよいところと課題を考えてみよう」「学校をつくらう」「自分の学校でどう活かすかを考えてみよう ～振り返り～」の3部構成で、3班に分かれて行いました。

第1部では、自分の学校のよいところや課題点を書き出し、グループでどんな学校を作りたいのかをテーマに話しあいました。第2部では、市教育委員会役として井澤副会長・澤田研修部長を指導主事に設定し、1部で決まったテーマを基に市教委に向けたプレゼン資料を作成し、グループごとにプレゼンを行いました。教職員の職務軽減をテーマにしたグループや、子ども達に視点を置き地域とのつながりをテーマにしたグループ、子ども達が安心して満足できる学校をテーマにしたグループがそれぞれ、目的を達成するために何が必要で、こういった動きになるのかを具体的に提示していました。それぞれのプレゼンが三者三様でどの案も面白く、とても感心しました。第3部では、グループワークやプレゼンを振り返り、良かったところ、自校でも活かせることなどをワークシートに記入し、グループで交流を行いました。

研修後のアンケートには、自分たちでアイデアを出しあい、ひとつの提案にまとめることが楽しかったという意見や、事務職員の仕事は多岐にわたり、目の付け所が無数にあるなど実感したといった意見、3時間の研修が短く感じたなどがあり、充実した研修会となりました。

(総務部長 澤)



第23回 評議員会報告

平成29年1月27日(金)、第23回評議員会を開催しました。豊中市立東豊台小学校の小島さんと箕面市立第二中学校の今村さんが議長に選出され、議事に入りました。

[1号議案] 役員選出規定の変更について ⇒賛成多数で承認

(提案) 現在の各地区の加盟研数、学校数を考慮し、大阪市、泉南、南河内地区を新たな1地区とし、役員選出委員数を8名から5名に変更する。

[2号議案] 特別委員会（役員選出委員会）の設置について ⇒賛成多数で承認

（提案）次期役員を選出するための役員選出委員会を設置する。

[3号議案] 特別委員会（大阪府公立学校事務研究大会特別委員会）の設置について ⇒賛成多数で承認

（提案）池田市から、研究大会を魅力ある大会にするための特別委員会の設置の提案があり、運営体制や活動期間、職務内容などを説明されました。

門真市、摂津市、貝塚市、守口市から役員会の関わりや委員の経験年数、委員の数、市の意見を集約するのかなどの質問があり、回答として、役員会はオブザーバーとして加わり、委員は経験年数に関係なく、加盟研から1、2名推薦し、市全体だけでなく個人の意見も出してくださいとのことでした。

2号議案の承認により、役員選出委員に選出された方々は下表のとおりです。 （総務部 大島）

役員選出委員会名簿

地区	役職	名前	所属	電話
北河内	委員長	立花 拓朗	寝屋川市立第七中学校	072-825-9006
豊能		小島 孝夫	豊中市立東豊台小学校	06-6849-5765
三島		宮口 陽佑	摂津市立第五中学校	072-653-1081
中河内		内藤 優	東大阪市立長堂小学校	06-6783-3331
大阪市・泉南・南河内		大島 崇義	羽曳野市立峰塚中学校	072-958-3301

独立行政法人教員研修センター主催 文部科学省共催

平成28年度教職員等中央研修 事務職員研修 報告

報告者： 豊中市立南桜塚小学校 藤井 雄一郎 様
茨木市立太田小学校 栗野 亮 様

第23回評議員会後、独立行政法人教員研修センター主催の平成28年度教職員中央研修（第1回事務職員研修）の報告がありました。

栗野さんより、1日目の「学校ビジョンと戦略」、2日目の「スクールコンプライアンスとリスクマネジメント」「財務マネジメントとカリキュラムマネジメント」、3日目の「地域とともにある学校を推進する学校運営事務」「教育委員会と連携した業務改善」、4日目の「求められる事務職員像」「学校事務職員の実践のフロンティア」、そして最終日の「学校運営事務の統括者としての学校運営の参画」「新時代の学校経営とアクティブラーニング」についての講演や事例発表の報告がありました。実際に栗野さんが研修時に提出したミーティング時の資料なども配っていただき、研修を受けてどのような事を感じたかがよく分かる報告でした。

続いて藤井さんより、2日目前半に受けた講義の詳しい報告があり、地域とともにあるチーム学校の一員として、行政職である事務職員に求められるリーガルマインドやスクールコンプライアンスについて判例を元に考えました。何が起こるか分からない学校現場で、事務職員が確かな知識に基づき冷静な判断ができることは重要であると感じました。「正解があるものではないので、常に自分なりの答えを考えておくことが大切」という言葉が印象に残りました。

中央研修の事務職員研修は今年度より新設となり、校長研修と同じ日程で開催されました。校長と同席する講義が3つもあったということで、事務職員の学校組織マネジメントへの参画に対する期待を感じるものでした。

（総務部 中野）